

## 航の夢「サングラスのマスター」

朝、着替えながら、

航「ママ、僕、ヘンな夢みちゃった。」

と話してくれました。

航「おじさんが、僕にお団子くれるの。」

あめ「おいしくなかったの？」

航「ううん。すごく美味しかったの！」

あめ「あれ？(笑)じゃ、いい夢だね。」

航「でも、10円払えなかったから、みんなが、食べた、お茶碗、全部洗わせられるの」

あめ「そっか。そのおじさん、どんな人？おじいさん？」

航「ううん。お・じ・さ・ん。こんな服着てたの」

(おそらく、インドや、エジプトの民族衣装のようなかぶりの服です。)

あめ「そのおじさん、おひげ生えてた？」

航「サングラスしていた。」

あめ「サングラス??？」

航「うん！」

あめ「場所は？建物はどんな感じ？」

航「駅だった。」

あめ「駅？古い？新しい？」

航「わかんない。エスカレーターがあった」

過去世か未来世で、修行中の小僧(航)が、師匠に、

お団子をおなかいっぱい食べさせてもらい、

御褒美に(??笑)お茶碗洗いの修行をいただいたのかしら…。

と思いました(笑)